

海外研究室交流プログラム(SSSV) in Malaysia

静岡大学大学院総合科学技術研究科工学専攻 電子物質科学コース 下村研究室

マレーシア

- ・東南アジアのうちの一國。面積は約33万km²、人口は約2900万人(2012年)。
- ・通貨はリンギット(MYR)で1MYR~25円。一食の出費が10MYRくらい(安い!)
- ・宗教はイスラム教が国教。(マレー系)
- ・様々なルーツをもつ人たちが混在する多民族国家で様々な文化が混ざる。
- ・気候は熱帯気候に属し湿度は一年を通して高いが、気温は30℃前後。
- ・道路脇にはパームヤシが延々と植えられている。

クアラルンプール

- ・マレーシアの首都で高層ビルやヨーロッパ調の建物、イスラム寺院などが混在。
- ・面積約240km²で人口約177万人。

バトゥ・パハト

- ・マレーシア南部のジョホール州に位置する地方都市。
- ・面積約1870km²で人口40万人。
- ・メンバーには住みたい!と大好評だった。



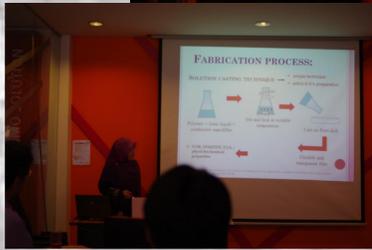
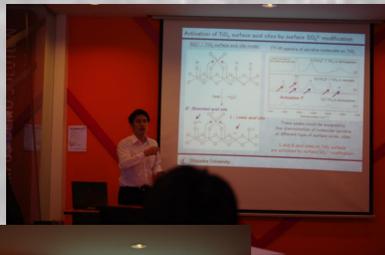
日程

- | | | |
|-------|---|-------------|
| 12/ 4 | 中部国際空港発 | クアラルンプール空港着 |
| 12/ 5 | バトゥ・パハトへ移動 | |
| 12/ 6 | 各大学の紹介、UTHMの施設見学 | |
| 12/ 7 | 各研究室の研究発表会
セラミックス工場(CLAYTAN FINE CHINA)見学
ドリアン、会食 | |
| 12/ 8 | UTHMの授業に参加 | |
| 12/ 9 | ジョホール州観光 | |
| 12/10 | クアラルンプールへ移動 | |
| 12/11 | クアラルンプール観光 | |
| 12/12 | Universiti of Malayaの研究室見学、研究発表会
会食 | |
| 12/13 | クアラルンプール空港発 | |
| 12/14 | 中部国際空港着 | |

交流先②: Universiti Malaya (クアラルンプール)



マレーシアで最も古い大学。
12の学部がある。キャンパスは首都クアラルンプールの南西に位置。



英語による研究発表 in UM



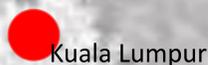
研究室見学



大学構内がまるで一つの街のよう



UMからのプレゼント



Kuala Lumpur

国際交流・異文化体験



UTHMIにて。交流先の学部は女性(先生も学生も)が多かった。



屋台にて



会食の様子



マレーシアの景色



授業後に



安くて美味しい!ドリアンは...

交流先①: Universiti Tun Hussein Onn Malaysia (バトゥ・パハト)



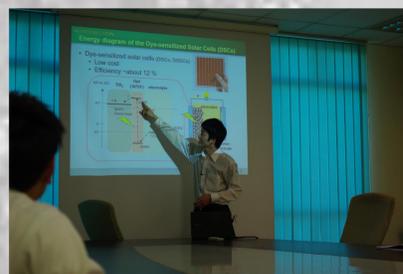
名前の由来は第3代首相の名前から。公立大学。
8の学部があり、すべて工学系である。
交流先研究室は電気電子工学部に所属。
モットーは“With Wisdom, We Explore”。



大きな図書館



授業風景 グループワークが中心



英語での研究発表



大学内の施設見学



Batu Pahat



お世話になった方たちと



CLAYTAN FINE CHINA 見学
(セラミックス工場)

総括

- ・交流先の研究発表を聞いて、自分たちと同じレベル(あるいはそれ以上)の研究を行っていることを知り、大学教育の水準の高さを感じた。そのため、いままで持っていた東南アジアの国へのイメージが大きく変わった。
- ・今回のプログラムで研究および語学習得へのモチベーションが一段と強化された。
- ・自分たちがマレーシアの大学生と比べていかに英語に慣れていないかを痛感し、交流先での発表や日常生活での会話で拙くても意図が伝わるコミュニケーション能力の重要性に気付いた。